

医療法人財団 **健和会**
みさと健和病院 Tel.048-955-7171
みさと健和クリニック Tel.048-955-8551
まちかどひろばクリニック Tel.048-955-8683
みさと健和歯科 Tel.048-956-6996
みさと健和団地診療所 Tel.048-959-5011

健康のひろば

発行所
〒341-0035 三郷市鷹野4-494-1
「健康のひろば」編集委員会
Tel. 048-955-7872
Fax. 048-955-7897
E-mail tomonokai-m@kenwa.or.jp
http://misato.kenwa.or.jp
(毎月25日発行 定価1部30円)

みさと健和病院発熱外来 北棟ロータリーに発熱外来用の仮設待合室を設置しました



仮設された発熱外来用待合室

発熱外来の機能を強化
みさと健和病院では、昨年9月よりインフルエンザ流行期に備えた外来診療体制について議論を開始しました。健康のひろば12月号でお知らせした「埼玉県指定診療・検査医療機関」として発熱等の診療を開始するため「北棟外来」の機能を強化しました。診察室を1室から2室、処置室の整備、新たに点滴室を設けるなどの改修を行いました。

**密にならないよう
プレハブ待合室を設置**
問題となったのは待合室です。密にならないように患者さんの間隔を広く取る必要がありますが、待合室を拡張することはできません。そこで埼玉県の補助金を活用して、北棟のロータリーにプレハブを建てることにしました。プレハブは10月に発注しましたが、発熱外来による需要が多いため着工が遅れ、1月になりました。

**コロナの拡大状況で
設置期間延期も検討**
幸い、マスク着用や手洗などの感染対策が一般化した影響かインフルエンザの流行はなく、プレハブを待合として利用したのは数回にとどまっています。また、プレハブは待合室としてだけでなく、多人数のPCR検査に対応する際にも活用することを想定しています。

なお、プレハブは一時的な建物であるため、三郷市から3カ月限定で建築許可を受けています。このまま新型コロナウイルスの感染が収束すればいいのですが、3カ月後も感染拡大が続いているようであれば、三郷市に今後の対応を相談したいと考えています。

(みさと健和病院事務局長・仁井谷 光)

婦人科 医師5人体制へ



1月から当院に着任された呉屋医師（1月号で紹介）を含め、婦人科の医師体制が5名となりました。医師体制表は下記の通りになります。

なお、婦人科は基本的に予約制になっております。お越しの際は事前にご連絡をお願い致します。ご不明な点はみさと健和病院までお電話ください。

	月	火	水	木	金	土
午前	榎本	深津	稲葉	深津	稲葉	大島
			呉屋		呉屋	
午後		坂本	稲葉	呉屋	呉屋	
			呉屋		稲葉	

※ ■ は女性医師

新バス停のご案内

「仮設建物」設置の都合でバス停の場所が変わります。新しいバス停はクリニック側タクシー降車スペースです。車待ちスペースは今まで通りお使いいただけます。

**シャトルバスの
停留所が変わりました**

2021年1月12日から、巡回バスの病院停留所がクリニックのロータリー駐車場側に変更となっております。シャトルバス待合スペースは変更ありません。これまで同様、出発前にお声掛けいたします。ご不明な点は職員にお尋ねください。

鼓動 ▼ 昨年1月、武漢から発症した新型コロナウイルスは世界中に感染拡大し、日本でも年を越して第三波の感染拡大が全国を覆っている。感染しても入院出来ずに自宅待機を余儀なくされている方、自宅待機中に亡くなられるなど医療体制の崩壊が起きている。どうしてこのような事態になってしまったのか▼

第一波の時は初めての経験であったことや政府の感染対策が不十分であったが、国民と医療現場の努力で乗り越えたともいわれている。第一波が収まった時期、政府の責任で第二波、三波を想定して医療体制・保健所体制の充実、PCR検査を増やす対策をとるようになった。医療従事者や専門家の声に耳を貸さない、科学的見地を尊重せず新型コロナウイルスを軽く見ていたとしか思えないGO・TOトラベルなど感染防止と逆行する経済優先政策を推し進めた結果であり、政府の責任は重く人災といわざるを得ないと思う▼

新型コロナウイルスと闘い抑え込むためには情報を公開し国民の声に耳を傾け、国民が納得できる感染対策を進めるべきと思う。

(編集委員・細川 健二)

健和会の医療と介護の事業を支える協同基金(無利息)にご協力をお願いいたします。
(お問い合わせ)
TEL 048-955-7872

泌尿器科専門研修医

高木翔太先生の紹介

皆さん、はじめまして。
2021年1月より東京
大学医学部附属病院泌尿
器科学教室からの派遣で、
みさと健和病院泌尿器科

大学からの研修派
遣でみさと健和病
院泌尿器科へ



高木 翔太 医師

今後迎える超高齢
化社会へ向けて

泌尿器癌や尿路感染症

の泌尿器科専門研修医として勤務することになりました高木翔太と申します。
消化器や呼吸器などは内科・外科に分かれていますが、泌尿器科では尿
路・性器などの疾患を内
科的にも外科的にも診療
し、一つの科で総合的に
診療できることが魅力で
泌尿器科医になりました。

排尿についてはなかなか
他人に相談しにくいと思
いますが、治療によっ
て改善する場合も多いの
で、些細なことでもご相



の診療はもちろん、現在
の超高齢社会においては
排尿障害を抱えている患
者さんが多いため、今後
泌尿器科医の役割がまし
ます増えてくると思いま
す。みさと健和病院でし
っかり修練を行い、一人
前の泌尿器科医になれる
ように努力したいと思っ
ております。

日頃よりみさと健和病
院・クリニックの医療活
動にご理解ご協力いただ
き、ありがとうございます。
友の会会員の皆さまま
よりに寄付していただい
ております清拭布ですが、
コロナ禍のためボランテ
アさんを募ることができ
ず、現在布を細かく切る
ことができません。

そのためお持ちいただ
いた清拭布が溜まってき
ており、使用する病院・
クリニックでもさばき切
れなくなってきました。ま
よりに寄付していただい
ております清拭布ですが、
コロナ禍のためボランテ
アさんを募ることができ
ず、現在布を細かく切る
ことができません。



これまでお持ちいただ
いた清拭布が一定量減る
までの期間、新たな布の
収集は一時お休みといた
します。収集再開の際は、
「健康のひろば」紙面に
てお知らせいたします。
今後も健和友の会ならび
に健和病院・クリニック
へのご協力をよろしくお
願い致します。
(健和友の会事務局)

「75歳以上の医療費本人2割負担」
への反対に署名ご協力を訴えます

自助という自己責任論
「昨年2月から自粛生
活を送っています。政
府が進めたGOTOなど
まるで縁がありません」
「今でさえ、少々具合が
悪くても我慢している」
実際に事務局に寄せられ
た声です。

コロナ禍で仕事や学

校、生活面で大きな困
難を余儀なくされている
中、国民に「自助＝自己
責任」を押し付けるだけ
の無為無策の菅政権が、
75歳以上の医療費窓口負
担を2倍化する法案を国
会に提出しようとしてい
ます。

現在75歳以上の人は、

「後期高齢者医療制度」
に加入し、病院
の窓口では原則
1割の自己負担
を払います（年
収383万円以上
の人は3割負担）。
政府は、一昨年か
らこれを「一定所
得以上は2割」に
上げる案を検討し
てきました。投稿
にある「自公の党
首の取決め」とは、
昨年12月9日に、

過去の国会答弁も
反故(ほご)に

この「一定所得」を「年
収200万円以上」の人
とすることの合意です。
窓口負担が2倍にされる
人は370万人にのぼり
ます。

そもそも、2008年

4月にスタートした後期
高齢者医療制度は、「年
齢で、『後期』と一くく
りにされ」「死ぬまで保
険料を取り立てる」と、
全国から怒りの声が沸き
起こり、直後の6月には
「廃止法案」が参議院で
可決されています。

こうした批判を受け、

当時の麻生太郎首相は原
則1割負担について、「高
齢者が心配なく医療を
受けられる仕組み」だと
して、「ぜひ維持したい」

相野谷 安孝
(健和会医療介護政策室・)

みさと健和病院発熱外来

昨年12月号の「健康のひろば」にも掲載いたしました発熱外来
について、再度のお知らせです。発熱での来院の際は、事前に専
用電話での予約が必要になりますのでご注意ください。

発熱外来の問い合わせ電話番号

070-6470-6254

診療受付時間

10:00-11:30/14:00-15:30

月曜日～土曜日(土曜日午後は休診)

埼玉県ホームページ「埼玉県指定診療・検査医療機関
検索システム」でもご覧いただけます。

清拭布の収集を
一時お休みにします

日頃よりみさと健和病
院・クリニックの医療活
動にご理解ご協力いただ
き、ありがとうございます。

友の会会員の皆さまま
よりに寄付していただい
ております清拭布ですが、
コロナ禍のためボランテ
アさんを募ることができ
ず、現在布を細かく切る
ことができません。

そのためお持ちいただ
いた清拭布が溜まってき
ており、使用する病院・
クリニックでもさばき切
れなくなってきました。ま
よりに寄付していただい
ております清拭布ですが、
コロナ禍のためボランテ
アさんを募ることができ
ず、現在布を細かく切る
ことができません。



これまでお持ちいただ
いた清拭布が一定量減る
までの期間、新たな布の
収集は一時お休みといた
します。収集再開の際は、
「健康のひろば」紙面に
てお知らせいたします。
今後も健和友の会ならび
に健和病院・クリニック
へのご協力をよろしくお
願い致します。
(健和友の会事務局)

千住介護福祉専門学校

- ★民医連唯一の介護福祉士養成校
- ★現場経験豊富な講師陣による授業！
- ★福祉用具の活用で安全で安心な介護を学びます！
- ★経済的な理由で、独自の学費減免制度も活用できます。
- ★学校個別見学随時受け付け中



<問い合わせ先>
フリーダイヤル：0120-114-294(月～土、9～17時)
メール：info@senju-kaigo.jp
学校HP：http://www.senju-kaigo.jp

学校法人 東都医療福祉学院
千住介護福祉専門学校
東京都足立区千住仲町14-4
(北千住駅より徒歩10分、千住大橋駅より徒歩6分)

民医連 お気軽にご相談下さい

福祉用具レンタル・介護
用品の販売・住宅改修

(株)福祉協同サービス

中央営業所

三郷市谷口617
TEL 048 (949) 2511

介護スタッフ大募集

特別養護老人ホーム・デイサービス
グループホーム・訪問介護 他

TEL 03-5813-9251



介護職の
やりがいと笑顔が
ここにあります



その人らしくを大切に
社会福祉法人
すこやか福祉会

すこやか福祉会 検索

連載③

私も「健康のひろば」 届けています



関沢 多鶴子さん

「健康のひろば」の手配りをするようになって何年になるでしょうか？当初から関わっていたように思います。最初は範囲も広く、

「健康のひろば」の手配りをするようになって何年になるでしょうか？当初から関わっていたように思います。最初は範囲も広く、

手配りで季節の移ろいを感じながら

健和会初事業！障がい者総合相談センター 開設しました

(三郷市障がい福祉相談支援センターみさと中央・所長 佐藤 厚志)



相談センターが入る建物

三郷市の委託事業として南部エリアを強化

令和3年1月より、三郷市からの委託事業として障がい者の総合的な相談窓口を開設しました。ひとくちで言えば、障がい分野の地域包括支援センターといったところでしようか。これは健和会として、初めての事業です。

以前から活動していたアカシア会の「障がい福祉相談支援センターパティオ」になります。

友の会活動とも連携して 障がい者支援に

私は地域包括支援センターみさと南に長く勤めていました。この事業所の立ち上げに伴い異動となりました。8050問題や、親なき後の子の将来の心配など、障がいをめぐる課題は地域包括支援センターのころから感じる部分はありましたが、なかなか難しいことだと認識をあらたにしました。友の会の方々とも引き続き連携しあいながら、地域の課題に取り組んでいけたらと思います。



関沢多鶴子

られ、普段味わえない交流があるものです。友の会でも、イベントやサークルが増えて楽しく参加させて頂いています。お友達も出来、趣味も増えました。このきずなを大切に

東都協議会の事業所・職場めぐり② みさと健和病院 診療情報室

病院と患者さんを縁の下から支えています

診療情報課は表舞台に立つ事は無く、患者さんと接することほとんど無いため知名度はゼロに等しいですが、縁の下で病院と患者さんを支える重要な役割を持っています。

診療情報課には「病歴室」と「システム室」があります。病歴室には診療情報管理士の資格を持つ者が配置されており、診療録（カルテ）に記載されたデータや情報を分析したり、活用したりすることに



左から中山課長、野嶋師長、皆川さん、秋本さん

より医療の安全、質の向上及び病院の経営管理に寄与しています。業務の一部を紹介いたします。●全国がん登録：法制化されたこの事業に対し、がん患者さんの

病院食（行事食）の紹介



<メニュー>

- ・米飯
- ・有頭えび
- ・三色博多
- ・炒りサーモン
- ・八幡巻き
- ・お煮
- ・黒豆
- ・千代呂木
- ・伊達巻
- ・田作り
- ・紅白なます

<栄養>

- ・エネルギー 749kcal
- ・たんぱく質 37.7g
- ・脂質 16.1g
- ・食塩相当量 3.3g

1月の行事食は「おせち」です。縁起物の食材が色とりどりに添えられています。ひとつひとつの食材に1年を思いつがなく過ごせるように願いが込められています。読者の皆さん、いくつか分かりますか？（編集部）

今月の 投書から

今月(12月初旬)1月下旬は7件の投書を頂きました。ありがとうございます。今回は1件の紹介です。投書の際、なるべくお名前と連絡先をご記入ください。

▼(急性期)病棟のデイルームにテレビを設置してほしい

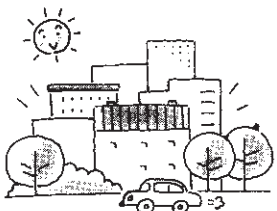
リハビリテーションを重点的に行うリハビリ病棟(回復期病棟)では、原則病室ではなくデイルームで食事を取られるため、テレビを設置しております。治療病棟(急性期病棟)では治療の安静が必要な方もいらっしゃるため、デイルームにはテレビを設置してあります。

間接的ではありますが、患者さんの医療に貢献できるような奮闘しています。

(診療情報室・中山 隆)

1月の行事食は「おせち」です。縁起物の食材が色とりどりに添えられています。ひとつひとつの食材に1年を思いつがなく過ごせるように願いが込められています。読者の皆さん、いくつか分かりますか？（編集部）

仁井谷 光



読者の便り

▼余りお手伝い出来ず申し訳なく思っております。でも昭和4年4月4日生まれですから92才となりました。コロナ問題が見通しついたら、中央診療所（仮称）工事を期待しております。

（三郷市中央・

小山正助）

▼ふるさとの風景はとてもいいですね。全国のふるさとを知りたいです。クロスワードも大好きです。頭を使うのでリフレッシュになります。

（三郷市戸ヶ崎・

江川義幸）

▼初めてメールでお便りし

ことをいつも以上に考えた年の瀬でした。

（三郷市彦成・

三橋勝美）

▼ますます猛威を振るい、納まる事を知らない新型コロナウイルス。そんな不安になる毎日。12月1日より、「埼玉県指定診療機関」として、みさと健和病院発熱外来が発足したのですね。とても心強いのですが、先生はじめ看護師さん関係者の皆さん体に気を付けて、ガンバツテ下さい。

（三郷市谷口・

小林茂）



「法人債」についてのお知らせ

事業借入金・協同基金にご協力いただいている皆様へ

事業借入金、協同基金にご協力いただいている皆様には、健和会より毎年大切なお知らせを郵便にて送付しております。このため、ご住所に変更等がある場合には変更届のご提出が必要となりますので、健和会経理部（03-3870-0370）までご連絡ください。なお、電話番号及び振込口座の変更等の場合にも変更届のご提出が必要となりますので、ご注意ください。

（健和会本部・経理部）

文芸のひろば

俳句

来し方を明日へとつなぐ初日の出
三郷市泉 池澤 恵
吐く息のおはようまでが凍ってる
三郷市戸ヶ崎 加藤紀代美

川柳

まだ匂う亡夫のマフラーと初さんぽ
三郷市東町 千葉 妙子
思い込み私はしなないと思ひ込み
みさと健和病院 放射線課職員
多職種と連携してこそよい看護
みさと健和病院 看護師

短歌

ドカ雪と日本晴れの西東
せまし国にも差異があるとは
三郷市中央 吉野 宏

文芸のひろば 俳句・川柳・短歌 募集

あて先：埼玉県三郷市鷹野4-494-1 みさと健和病院 健和友の会宛 締切：毎月15日
※作品掲載者には図書カード500円分を送付いたします。（投稿は1月1首で厳守願います）

『手配り協力者』募集中

いま、機関紙「健康のひろば」約9500部を友の会の「手配り協力者」約470人で配達しています。みなさんボランティアで、毎月20日頃、ご近所の会員さんの分を配布いただいています。受け持ちの部数はそれぞれで、5～6部の方もいらっしゃいます。できる範囲でお願いしています。お気軽に友の会事務局までご連絡ください。

わたしのふるさと

268

まちかどひろばクリニック・所長 生田 利夫
みさと健和病院・副院長



利根運河

コロナ禍の中で、時々、自転車で徘徊している。東京の西荻窪から流山に転居して28年。人生の半分近くを過ごすことになった。幼少時から帰宅部で空想にふける日課で「引きこもり」だった。

自分の可能性にチャレンジして徳島の田舎から都会に出てきたが、どうだったのだろうか。大学時代には多少、社会と触れ合うこともあったが、医師となってからは病院と寝部屋に過ぎない家とを行ったり来たり。

江戸川土手を自転車で上流

に行けば運河があり、運河を東に向かい利根川まで行ってみた。先日は、野田の清水公園まで行ってみた。車で移動していた時とは、また違った風景が見える。

田舎に帰ることは、年に1、2回になっている。神社の境内は狭く感じられ、高校に自転車で通っていた道は、2倍以上の道幅になった。いつの間か、流山のほうが愛着のある街になっている。子供たちの育った街を自分の「ふるさと」にする再発見の旅路に出かけようという。



古民家がいまも残る流山境界

クロスワードパズル

1		2		3	4
	5	6			
7	8		9		
	10	11		12	13
14			15		
16			17		

【ヨコのカギ】①一年で一番夜が長い ③——を持て余す ⑤近頃。——の出来事 ⑦雨が降ること。弾丸—— ⑨模擬試

験の略 ⑩寒い朝、——がおきる ⑫——も若きも ⑭——徹底し情報共有 ⑯亀の——より年の—— ⑰不利の対

カギを解き、二重枠の文字を並べてできる言葉
を答えましょう
【タテのカギ】①むだ骨。——に終わる ②——出勤、ボケ ③満ち潮の対 ④二十百千—— ⑥サツマ

⑧啄木の——『握の砂』
⑨合格めざし——勉強
⑬囲炉裏。読みは ⑭力士が——を踏む ⑮治ること。完全——

パズル当選者のお知らせ
第451号(12月25日付)の正解は「オオソウジ」でした。正解者の中から小山正助さん(三郷市)、江川義幸さん(三郷市)、榎本桂子さん(葛飾区)、三橋勝美さん(三郷市)、小林茂さん(三郷市)に図書カード500円分を送らせていただきます。

ハガキ、又はEメールに氏名と住所、それに正解と「健康のひろば」の号数、感想やご意見を添えて、下記宛先までお送り下さい。正解者の中から抽選で粗品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。

〈宛先〉
〒341-0035 三郷市鷹野4-494-1 健和友の会
Eメール：tomonokai-m@kenwa.or.jp
・締切り/2021年3月15日
・当選者発表/第455号(2021年4月25日付)

編集後記

▼1月22日に核兵器禁止条約が発効し、核兵器が国際的に違法化されました。広島、長崎への原爆投下から75年続けられてきた被爆者の活動や長年の核兵器廃絶運動など、さまざまな活動が結実したものです。日本は唯一の戦争被爆国にもかかわらず、禁止条約に署名も批准もしていません。条約への調印、批准を日本政府に求める運動を広げる必要があります。

(編集委員・篠田 定男)